



初夏を思わせる日差しの中、釜蓋の山肌に白いツツジが咲いていました。白いツツジの花言葉は“初恋”だそうです。

(写真 松本博充)

- サークル紹介
- 小川に生きる
- 分館紹介 - 夏和分館 -
- 小川の歴史 - 公営結婚式 -
- 図書だより
- ここに生まれた



サークル紹介(参加してみました!)

薬研彫

(松峯工房)

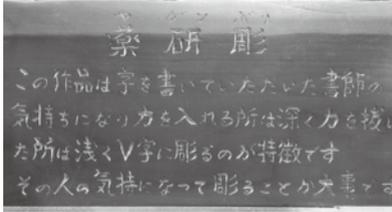
今回は公民館を飛び出して、島田にお住いの松峯賢さんの工房にお伺いしました。

以前、石材所で働いていたそうので『石に彫る彫り方を木にもしてみたい』と思い始められたのが、二十年程前だそうです。生家の畑の休憩所に『城蔵荘』と彫って掲げていたところ、あるお寺の和尚さんが気に入ってくれ、この彫りの道を精進した方がいいと助言してくれたそうです。

使用する木は、ケヤキ・クリ・イチイが多いそうです。

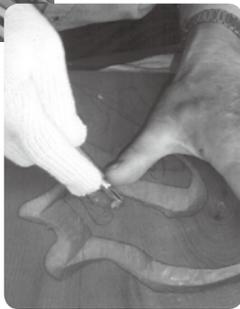


薬研



板にする時の切り方でも彫りやすさや難さがあるようですが、ケヤキは硬くて彫りにくく力があるそうです。軍手の中にあて布をして痛みを軽減されました。私も彫らせてもらいましたが全く刃が立たない状態でした。キリなど軟らかい木の方が良いかと思いきや、軟らかすぎたかえってダメなんだそうです。松峯さんはもう体が彫り方を覚えているので、この角度はこう、この木の時はこう、と自然になるそうです。また、木の形を生かして使ったり、木の表情の好きな方を使い、大きさも大小様々で、大きいものは自ら動いて彫るそうです。

彫る字や絵は書いてもらったものを木に写し彫ります。

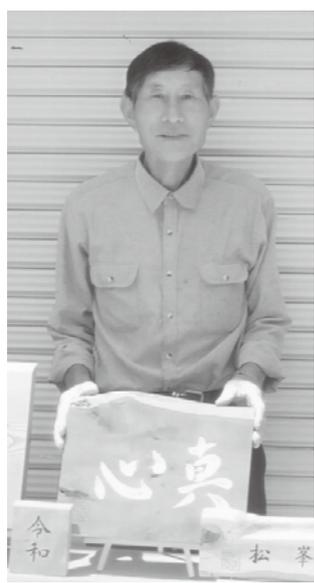




松峯さんは筆の払いや角、かすれ等も書いてくれた人の気持ちになって彫るそうです。今までは絵手紙でもお馴染みだった北田豊茂さんが提供、工房にもよく顔を出してくれたそうです。

松峯さんの作品は皆さん気付かぬうちにあちこちで目にされているはずです。公民館はもちろん、役場、さんさん市場、学校……。ぜひ見つけて下さい。

材料集めがなかなか出来ず、仲間を集めて、ということが難しいようですが、興味のある方はぜひ、連絡を入れてみて下さい。今までの作品の一部を見せてもらうこともできます。私も快く迎えていただき、楽しい取材の時間を過ごすことができました。ありがとうございました。





西原よし子さん (二反田)

した、野生の勘です。

その蔵は百年近い

歴史を感じさせる佇

まいでしたが、若干

の修復が必要だった

ため、周りの方の力

を借りながらゲーゲ

ルで調べながらDIYで漆喰を塗ったり、いすや机を自作

したりと頑張り、現在の事務所兼ショールームをオープ

ンできるまでになりました。

なぜ苔?かともうしますと、偶然テレビを見て、苔

が屋上緑化に使われ地球温暖化に役立っていることを知

り、苔に興味をもち始めたのがきっかけです。苔は地球

が誕生してから生物が出現した初期時代の植物として、

その太古の時から少しずつ姿や大きさ、色合いを進化さ

せ現代に生き残っているとされています。苔による温暖

今年3月小川村の土蔵に苔玉、苔ボトルの制作と販売
のお店「moss-moss store」をオープンしました。

東京都江戸川区ー生まれ育ちの江戸っ子「40代女性」

長野には旅行で何度か訪れており、空気はきれいで、

食べ物がおいしく良い印象を持っておりました。田舎暮

らしに憧れを持ちながら、たまた

ま訪れた小川村：女性の起業家に

も協力的で、ファミリーの移住者

も増え始めていること、小川村の

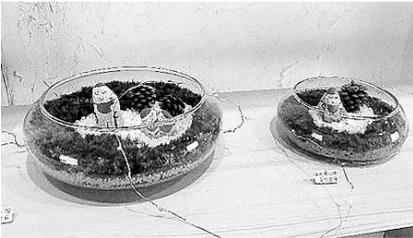
方は良い人だという噂、を聞きま

した。そんななかご縁がご縁を呼

んで、知人の勧めで小川村の土蔵

に出会い「ビビビッ」ときたのでか

なり思い切って購入してしまいま



小川の百年を知る土蔵

化対策の効果について「夏季の温度上昇の軽減による冷房の省エネルギー効果、冬季の保温による暖房の省エネルギー効果、大気の乾燥に強いことから常時散水をする必要が不要、建造物の耐久性を向上させる…etc」一部ですがこのような効果が考えられているようです。



私の幼少のころの記憶に、東京でも冬は学校の通学路：近くの工場のドラム缶の水が寒さで凍っていました。校庭の花壇には霜柱もありました。夏にはうちわの風が涼しく感じ、朝のラジオ体操の気持ちよかったことを思い出します。最近では冬は寒いといってもバケツの水が氷ることもまれで、霜柱を見ることも少なくなりました。夏は電動のミニ扇風機を持ち歩き、学校の教室には冷房設備がつき、外での運動は命の危険があるという時代。温暖化

現象が進んでこの先怖くてたまりません。何かしたい、何かしなければいけないと思いました。

苔ポトルや苔テラリウムなど、部屋のインテリアにもなり、癒しとしても人気であることを知り、気軽に育てられる苔を使つた苔ポトルキット（器、フィギュア、苔をセットにしたもの）の



販売と、温暖化の対策に役立っている苔のシートの販売、製造を始めようと思いました。村の皆様にも協力していただき、いろいろな種類の苔を手に入れることもできました。近くの畑を借りることができ苔の栽培に挑戦しようとしております。少しずつですが、前に進んでいくよう努力していきたいと思えます。これからもよろしくお願いたします。ありがとうございます。



館介 分紹

夏和分館

地域の和を大切に

夏和分館は、夏和山部・夏和・夏和和田・鴨之尾で構成されており、およそ100世帯で活動しています。一昔前と比べ少子高齢化が進み世帯数が減っている中ではありますが、活動内容を見直し工夫しながら「地域の和を大切に」を



モットーに活動しています。

春には、「親睦旅行「ふれあいツアー」」を行います。分館と育成会の共同開催で企画していますので、子どもから大人までの大勢が参加できる分館一大イベントです。昨年は信州花フェスタを見学したのち、山形村の高原ホテルで懇親会を行いました。大人同士の親睦が深まったことはもちろんですが、地域の子とも達とも交流できる良い機会となりました。



秋には敬老の日に合わせ「長寿を祝う会」を行います。若かった頃の苦労話や厳しい生活の様子をうかがう都度、今までのご尽力に頭が下がる思いです。これから

も楽しく達者で過ごせるように、昨年度は小川スポーツふれあいクラブ出前講座にお願いし、「貯筋運動」を指導していただきました。体を動かしながら、終始笑い声の絶えない和やかな会となりました。

正月明けには「ボーリング大会」を行います。こちらも分館と育成会の共同開催で企画しています。春の分館旅行で顔見知りとなった子ども達と再会し、大人達は良いたところを見せようとはりきった結果、翌日多くの人が筋肉痛になりました。親子で参加する方も多く、みんなで楽しみながら冬の運動不足を解消しています。

二月には「久木夏和合同研修会」を行います。その歴史は古くすでに四十二



回となりました。昨年度は脳トレ診断士の小林幹夫先生を講師にお招きし、「認知症講座」と題して、予防や診断などを分かりやすくユーモラスに解説していただきました。参加者からは認知症予防の大切さを再認識したと多くの声が聞かれました。

主だった行事を紹介させていただきましたが、分館活動は役員だけでなく区民の皆様の協力をなくしては成り立ちません。みんなで企画する、みんなで参加する。これこそが「地域の和を大切に」ということではないでしょうか。

最後になりましたが、今年度はコロナ感染拡大防止の影響で分館活動も自粛しています。一日も早く終息し、分館活動だけでなくあらゆることが通常に再開できる日を願ってやみません。



夏和分館長
松本 建樹さん

公営結婚式第1号。北小川支所にて。「おがわの百年」より。



小川の歴史

～公営結婚式～

《戦後／公営結婚式の実現》

戦後まもない昭和32年10月。北小川支所（旧北小川村役場）で小川村初の公営結婚式が行われました。それまでの婚礼はほとんどが自宅で行われ、三三九度や披露宴は形式通り時間をかけて進行し、祝宴は二晩、三晩と続くこともあったそうです。しかし昭和31年度の統計調査によると、婚礼にかかる費用は年間所得の50%を占め、「娘3人あれば一家は傾く」と言われていたとか。その頃各地では民主的で合理的な生活を目指そうと「新生活運動」が叫ばれ、小川村でもその一環として、従来の長時間にわたる形式や多大な経費の改善のため、当時の青年団を筆頭に「公営結婚式」の推進が図られました。

青年団では、結婚改善研究委員会を設け、結婚式までの過程や式の内容等の研究を進めました。また同じく青年団の手により簡素化された結婚式を行っていた信濃町公民館を見学するなど、公営結婚式実現に向けた精力的な取り組みがなされました。昭和32年4月には小川村公民館にて模擬結婚式を行い、その年の8月に公民館、婦人会、青年団による公営結婚式実行委員会を結成。地区

推進委員会も分館ごとに結成されました。9月には村長、議会議長らを含めた第一回目の実行委員会が行われ、第1号となる公営結婚式に向けた準備は急ピッチで進められました



昭和20年代後半、茶の間で行う三三九度。『おがわの百年』より

公営結婚式中の三三九度。『館報おがわ』97号（S59・2・27発行）掲載より



た。

その頃婦人会では、役員会の中で公営結婚式の具体的な推進について協議を行い、花嫁衣裳を寄付するこ

とを取り決めました。村内各戸の協力を仰ぎ、小豆一升ずつを集め、式服の購入費に充てたのです。この取り組みは実行委員会始め関係者を感じさせました。こうした機会もあって、女性の地位の向上が少しずつ図られていきました。

皆の協力のもと実現した公営結婚式は、諸形式を簡素化し披露宴も同時に進行、新郎新婦を中心とした考えのもとに挙行するという「新しい結婚式」として新生活を盛り立てました。その後は公民館や神社などの大きな建物を使って行われ、簡素の中にも大勢の人たちが祝福する盛大なものとなりました。村外からの申込みが入ることもあり、ピーク時には年間9割以上のカップルが公営結婚式を行ったという記録も。着実に軌道に乗っていた様子がうかがえます。次第に実行委員会の奉仕による運営から、隣近所の人や親戚関係者がお手伝いとして協力する形態へ移行していきました。

《婚礼スタイルの変化》

公営結婚式は時代の流れとともに内容も変化していき

ました。若者の好むようなキャンドルサービスやケーキカットも行えるようになり、ヘアメイクやウェディングドレスを各自で手配することが多くなったそうです。写真は、当時使われていたハートキャンドルと、ウェディングケーキの模型。ケーキの模型はケーキカットをする部分だけ本物のケーキが差し込めるつくりとなっていました。



生活改善の一環として始まった公営結婚式ですが、時代の変遷とともににより煌びやかなスタイルを好むようになり、「お色直しの回数を制限しては」「公営結婚式の本来の姿に戻すべきである」との声が聞かれるようになりました。次第に村外で挙式を行う者が増え、公営結婚式は平成11年10月をもってその歴史に幕を閉じました。

キャンドルサービスの様子

『館報おがわ』125号(H5・2・28発行)掲載より



実際に公営結婚式を行った、小川和子さんに当時のお話を伺ってきました。

夏和にお住いの小川寛司さん・和子さんご夫婦が式を挙げたのは、昭和50年12月。公民館の多目的ホールに100名もの人がお祝いに駆け付けたそうです。

「当時は現在の商業ベースの華やかなものではなく、地



域や集落の皆さん又職場の仲間などによる手作り感の強いものでした。古式ゆかしいとまではいきませんが、神主さんのいない神前結婚のようなものだったような気がします。地区の古老による謡い、集落の女性が巫女さんを務めて、三々九度の儀式をリードしてくれました。当時の村民会館は、今の公民館のような広さはなかったけれど、地域の皆さん、職場の上司・仲間、それぞれの友人、親族とでぎっしりでした。私たちが二人とも農協だったこともあって余計大勢になったのかもしれない。

今は、仲人さんを立てない結婚式が多いですが、当時は必須条件でした。大体地区で仲人役の家は決まっていたようで、私達の時はのちに公民館長も務められた酒井萬包先生御夫妻でした。新郎新婦の紹介は仲人の務めですから、事前打ち合わせで会食のお誘いがありました。

披露宴は、それこそどんちゃん騒ぎのようで、式が暮れの冬至の日でしたから、農協の忘年会だと揶揄されたようです。次から次へと余興が続き（中にはえげつないものもありましたが）企画していただいた農協の皆さんには本当に感謝です。宴会の設営、お給仕は近所の皆さん

んでやっていたとき地域力、仲間力あつての結婚式、披露宴でした。今は、立派な結婚式場で、綿密なプログラムのもとで行われますが、当時は予定があつてないようなものでしたから、参列していただいた方にはご迷惑なこともあつたかと思えます。

忙しい時代となり、なかなか当時のような手作り婚は難しいですが、今の時代だからこそ妙に懐かしさがこみ上げてきます。」

沢山の協力があつたからこそ出来た、心温まる結婚式だったんですね。人と人との繋がり、こんな時代だからこそ、より一層大切にしていきたいものです。

小川さん、お忙しい中、素敵なお話をありがとうございました！

皆さんもこの機会に思い出話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか。



〔参考・引用文献〕…館報おがわ縮刷版、小川村発足50周年記念写真集『おがわの百年』

本の整理・整頓をはじめました



小川村図書館には約2万冊の本がありますが、劣化していたり、日に焼けてしまった雑誌類などを、少しずつ整理することにしました。

小さな図書館ですが、よ〜く探して見ると、隠れた名作や素

敵な絵本がたくさんあります。見やすい配置になるよう考え、村民の皆様が気持ちよく利用できるような空間を目指して頑張ります！

なお、図書館整理中につき、しばらくの間、寄贈本の受付は控えさせて

頂きます。



図書館だより

小さな木の奥

第103号
図書委員会



重複している本や古くなった本は、リサイクル本として図書館入口の棚に置いてあります。ご希望の方はご自由にお持ちください。

ブックスタート

～生後6ヶ月の赤ちゃんへ本のプレゼント～

『子どもに読んで聞かせたい本は？』

令和1年9月から
10月生まれの赤ちゃん

『ついでまちゃんの
ほっとけーき』
わかやまけん



たかやま
高山 昊也くん

『ともたち』
ヘレン・オクスエンバリー



ミシエルス
和奏くん

図書委員 おすすめの本

①名前（敬称略）②おすすめする本の題名／作者③おすすめポイント

①坂井明日香

②『ライオンのおやつ』／小川糸



③毎日をもっと大切にしたいくなる物語。心にスーッと入ってきて自然と涙が流れました。



②『ぎゅっ』／
ジュズ・オールバラ

③『ぎゅっ』というシンプルな

言葉、それだけで充分。親子で幸せな気持ちになれる温かい絵本です。

①西沢 郁美

②『なぜ僕らは働くのか』／池上彰



③仕事に対して疑問を抱きながら、働く大人や今後の将来について考える子ども達などあらゆる世代の人たちが読んでも働く事への理解が深まる1冊です。

②『愛なき世界』／三浦しをん

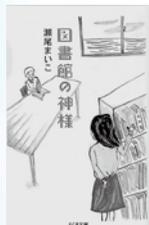


③狭い扉だけど入ると奥行き
の深い部屋だった。そんな
印象の1冊です。『恋のライ
バルは植物』このポップに
惹かれて手に取った本でし
たが、ゆっくりとした展開で

人の温かさが実感できる本でした。

①小林恵里子

②『図書館の神様』／瀬尾まいこ



③題名に惹かれて手に取りました。主人公の意外な設定に驚き、結末は主人公のまっすぐな気持ちが報われて安堵した1冊です。

②『家事ぐせ』／おさよさん



③日々の名もなき家事を簡略化し、いつでもきれいにできる工夫に脱帽しました。すぐ真似が出来る親切丁寧な1冊です。

①松林 美穂

②『ディズニーおもてなしの神様が教えてくれたこと』／鎌田洋



③私が大のディズニー好きで、息子が私のために借りてきてくれました。ディズニーで働くキャストさんのお話です。常にゲストの為におもてなしをするキャストさんに感動しました。

②『ディズニー夢をかなえる神様が教えてくれたこと』／鎌田洋



③息子の夢はディズニーで働くことです。この本は、夢はあきらめなければかなうというウォルト・ディズニーの言葉がたくさんつまっています。

こころに 生まれて



親の責任

高山 恩典
浩子

さん (下市場)

小川村に住み始め1年と少し経ちました。結婚して間もなくお腹に赤ちゃんが居ることがわかり早く子どもが欲しいなあと思っていた私にはとても嬉しい出来事でした。令和元年9月16日に予定日より1週間ほど早く、私たちの元に元気な男の子が誕生しました。名前は「昊也(こうや)」です。「昊」は「そら」とも読み、大空のように広く大きく穏やかな、心広い子になるようにと思いを込め義理の父が名付けてくれ、私たち夫婦もとても気に入っている名前です。

初めての子育てに思うように行かず、寝不足の日々が続き、周りからは「今は寝ているだけ



だから一番楽だよ」なんて言われ、「えっ……こんなに辛いのに!？」なんて思ってた事も今となつては本当にその通りだったなあ、と感じます。今、昊也は8ヶ月になり、ようやく下の歯が生え始めました。マイペースな性格か、なかなかハイハイはできませんが、コロコロと寝返りをしたり、手を叩いて遊んだり、ストローで上手にお茶を飲めるようになってりと、日々めまぐるしい成長を遂げ、その様子を見ているだけでとても嬉しくなります。

自分の事以上に子どもの幸せを願うのが親。親になって初めて、親の気持ちを知り、親への感謝とともに、ど





うしたら子どもが幸せな人生を歩めるのか、私たちは自分の親がしてくれたように、この子を幸せにする事が出来るのだろうか…と不安になることがあります。妊娠が分かった時、本当に嬉しかったのですが、それと同時に親になると言う責任の重さを

感じ、まだ始まったでもない「子育て」に大きな不安を感じた事を鮮明に覚えています。息子を連れよく義理の実家へ遊びに行くのですが、子育てに不安を感じる私に両親が子育て四訓を教えてくださいました。

- 1、乳児はしっかりと肌を離すな
- 2、幼児は肌を離せ、手を離すな
- 3、少年は手を離せ、目を離すな
- 4、青年は目を離せ、心を離すな

過度な干渉・保護は子ども自身の考える力や物事を見極める力を奪ってしまう。子どもの成長段階に比例して、少しずつ距離を離して行く。そんな親としてのあるべき姿をわかりやすく話してくれ、私はこの四訓を忘れずに

子どもと向き合って行こうと思いました。



小川村は子育てをするには理想的な環境です。自然豊かで植物や昆虫など、子どもが興味を引く物で溢れています。私自身、実家では祖父母が農業をされており、よく学校帰りに畑に立ち寄り、摘み取ったりんごの花や実を集めて遊んだり、宿題をしたりおやつをもらったりと、とてもよい思い出です。なので、子どもが大きくなったら広い庭いっぱいには駆け回り、おじいちゃん・おばあちゃんの畑仕事の手伝いをしながら、自然を体験しいろいろな発見をしながら成長できる、今の環境をとっても大切にしたいと思っています。子どもと居られる時間は限られています。つつい日々の忙しさから「ちよつと待ってね」が口癖になりつつありますが、子どもの成長はあつという間です。この一瞬一瞬を大切にし、子どもの幸せを家族みんなで見守り大切に育てて行きたいと思っています。

2020年度 社会教育・公民館関係役員

【社会教育委員会】

議長 西沢榮之助
副議長 古屋源吾
委員 花田隆夫
委員 新井孝之
委員 永井宏樹

【分館長・主事】

夏 和分館長 松本 建樹
〃 主事 高木 一仁
久 木分館長 久田 茂男
〃 主事 久保田正訓
高府町分館長 小林 和彦
〃 主事 保科 一義
花 尾分館長 西澤 力衛
〃 主事 中村 信一
上 野分館長 伊藤 一芳
〃 主事 北村 亮
小根山分館長 小林 安雄
〃 主事 楠 佳典
○ 主事 大久保和彦
◎ 稲丘東分館長 和田 忠喜
〃 主事

稲丘西分館長 大田 隆嗣
〃 主事 柳澤 孝好
成 就分館長 川又 康孝
〃 主事 下蘭 和秀
北 尾分館長 宮下 治久
〃 主事 松本 武志
法 地分館長 西澤 正忠
瀬戸川分館長 横田 吉人
〃 主事 中村 和正
古馬川分館長 伊藤 繁
〃 主事 伊藤 正

【スポーツ推進委員会】

(◎会長 ○副会長)
委員長 小林 雅樹
副委員長 松本 武志
委員 須賀 真孝
委員 伊藤 聖寛
委員 二瓶 理佳
委員 和田 博之
委員 徳武 美江
委員 祖母井陽子

【視聴覚委員会】

委員 矢口 早苗
委員 原山 美奈
委員 川又 啓一
副委員長 和田 優孝
委員 和田 久憲
委員 丸田 勉
委員 大久保雅夫
委員 今村 誠人
委員 横矢 匠
委員 川又 康助

【図書委員会】

委員長 坂井明日香
副委員長 西沢 郁美
委員 小林恵里子
委員 松林 美穂

【館報編集委員会】

委員長 松本 博充
副委員長 笠井 里奈
委員 松本 治代
委員 三水 恵
委員 松本 真佑